

組織の編制と活動

学年ごとに取り組むミニ校内研究

大規模校であるため、通常的全教員が参加する校内研究会だけでは進めにくいことがあります。そこで、学年ごとの校内研究会（ミニ校内研）に校内研究主任が参加することにしました。校内研究主任が各学年のミニ校内研に参加し、それぞれの学年がどのようなことに悩み、どのような授業をしようとしているのかをつなぎました。



ミニ校内研をする教員の様子

児童の実態・課題を語ることから始まり、どのような資質・能力を付けるのか、そのためにどのように日々の取組や授業を仕組むのかということをしつくり話し合いました。

例えば、算数科の「円の面積」の授業について、「図を描いて説明できる」「みんなが円の面積を求められる」というゴールのために、どのような手立てが必要かを考えました。

児童の実態

【手段】を工夫

- ・ 児童の実態に合っているか…
- ・ 「対話的な学び」をどのように仕組むか…

付けたい
資質・能力
【単元の目標】

上記の流れで単元計画を立てたり、教材研究をしたりするのはどの教科でも同じであると、校内の教員で共通理解することができました。そうすることで、どのような授業をするのかから始まるのではなく、児童の実態、課題からどのような資質・能力を身に付けるのか、それを達成するためにどのような授業を仕組んでいくのかという、児童の姿を中心に進める校内研究につながりました。

(E小学校 校内研究主任)